

ふるさと希望指数(LHI : Local Hope Index)の概要

策定趣旨

現在の満足度を表す「幸福」ではなく、人々が将来や次の世代が良くなることを願う「希望」を高めるため、「希望」につながる要素を抽出した「ふるさと希望指数(LHI)」を策定

「希望」とは・・・将来の実現を願うこと 「幸福」とは・・・現在の満足のこと

ふるさと希望指数のポイント

- 「働く」、「楽しむ」、「保つ」、「向上する」、「助け合う」など個人の行動を重視した「行動重視型指数」
- 人々の「希望」につながる20の要素を5つの分野から日本で初めて抽出
- 20の要素を表す統計指標を選定し、「現状」と「変化率」の2つの観点によりデータ化

政策づくりに活用

ふるさと希望指数の項目

仕事

やりがいのある仕事に就き、一定水準の収入を得ること

【要素】

- 就業している
- 正規の職員・従業員として働いている
- 世帯当たりの収入が高い
- 仕事のためのスキルアップや自己啓発を行っている

[参考統計] 就業率、正規就業者率、実収入、職業訓練・自己啓発実施率



家族

お互いに信頼し、支え合うことのできる家族を持つこと

【要素】

- 結婚して新しい家族を持つ
- 子どもを持つ
- 家族でコミュニケーションがとれている
- 夫婦が共に働く

[参考統計] 結婚率、合計特殊出生率、子どもの家族交流率、共働き世帯割合



健康

子どもから高齢者まで、健康で元気に暮らしていけること

【要素】

- 病気やけがなどがなく健康である
- 健康に長生きできる
- 健康の維持に努めている
- 子どもの基礎体力が高く元気である

[参考統計] 健康実感率、自立調整健康寿命、健康診断率、子どもの体力



教育

学力や教養、社会性や挑戦力などを身につけ伸ばすこと

【要素】

- 子どもの学力が高い
- 子どもの道徳心や社会性が高い
- 子どもが夢や目標を持って物事に挑戦している
- 大学等の高等教育機関で学ぶ

[参考統計] 子どもの学力、子どもの道徳心・社会性、子どもの夢・希望・挑戦力、大学等進学率



地域・交流

地域に魅力(誇り)を感じ、社会貢献活動や地域活動などを通じて、地域や他者とのつながりを持つこと

【要素】

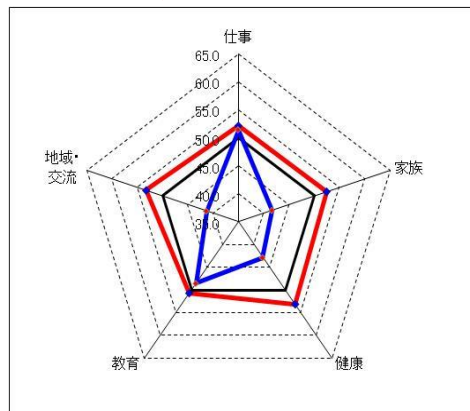
- 社会貢献活動に参加している
- 子どもが地域行事に参加している
- 学校や職場だけでなく、様々な人々と交流している
- 犯罪や交通事故が少なく、安全・安心な地域である

[参考統計] ボランティア活動の年間行動者率、子どもの地域行事への参加率、交際時間、地域の安全・安心



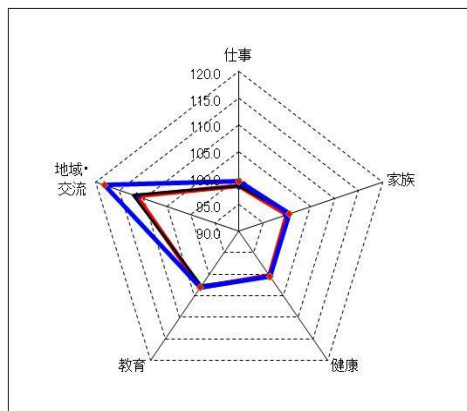
「希望」につながる要素のデータ化

統計数値(現状)



※偏差値

統計数値(変化率)



※基準年を100として原則3年間の変化

◇統計数値(現状)

	仕事	家族	健康	教育	地域・交流
ふるさと11県	52.2	52.4	53.2	50.7	53.2
三大都市	51.4	41.7	42.8	48.5	41.3
全国平均	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

◇統計数値(変化率)

	仕事	家族	健康	教育	地域・交流
ふるさと11県	98.6	100.0	100.3	103.0	111.4
三大都市	99.4	100.6	100.6	103.1	118.1
全国平均	98.5	100.8	100.4	102.7	112.0

※ふるさと11県: 自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク参加県